



財務モデリング講座
名前の定義の活用 (1)

受講生プロフィール



ティナ

新卒で外資系コンサルティングファームに入社し、コンサルタントとしてのキャリアを経て、その後 PPP 案件に係る様々なプロジェクトファイナンスや M&A に係る投融資をサポート。その後、フランスでの MBA を経て現在は米国東海岸にて農業投資に従事。アフリカでの生活経験有。

名前の定義とは

複数または単一のセルに対して名前を付けることができる機能

セルに名前を付けることで、以下のような計算が可能になる

= Apple + Orange

实训

セルに名前を付ける方法

1. Excel 左上の Name Box に名前を入力する方法
2. 名前の管理ダイアログから新しい名前を作成する方法
- 3. 選択範囲から名前を作成・再定義する方法**

実務的には 3 だけ覚えればOK!

選択範囲から名前を作成・再定義する方法

1. 名前を付けたい単一または複数のセルの右に付けたい名前をテキストで入力
2. 名前を付けたいセルの範囲 + テキストの範囲を選択し **Ctrl + Shift + F3** キーを押す
3. ダイアログの「右端列」にチェックがついていることを確認し、**OK** を押す

实训

名前の定義を使用するメリット

- 参照ミスを防ぎ、参照元の正しさを担保する
- **数式を直感的かつ素早く構築できる**
- 絶対参照として扱えるためモデルの中で再利用しやすい

名前の定義を使用するデメリット

- 名前の定義を知らないと参照元のセル番地が分かりにくい
- 一旦定義した名前の削除・変更技術に要する

上記2点をソフトウェア & VBA でカバー

名前を定義する場所・しない場所

モジュール/シートをまたぐ参照を行う際に
必ず名前の定義を使用

ケース 1

今後5年間の間、原価10,000円、12,000円、15,000円、13,000円、8,000円で仕入を行う電化製品がある。これらの電化製品に対して今後5年間それぞれ20%、30%、30%、35%、40%の売上総利益率を達成するような価格で販売を行う予定となっている。販売数量については、毎年1,000台の販売を想定している。売上高および原価についてモジュールを作成した上で、今後5年間における売上総利益を計算せよ。

... モデルのインプット（前提条件）

实训

財務モデリングにおける名前の定義ルール (1)

(例) Opco.Revenue.A.Ca

(EntityName).ItemName.PeriodGranularity.NameType

PeriodGranularity ... A / S / Q / M

NameType ... Out / Ca / In

財務モデリングにおける名前の定義ルール (2)

- EntityName については省略できる
- ItemName の中身を . (ドット) で区切ることも可能
- Constant については PeriodGranularity 不要

- (例) FuelCostTotal.Biomass1.Ca



ItemName

NameType

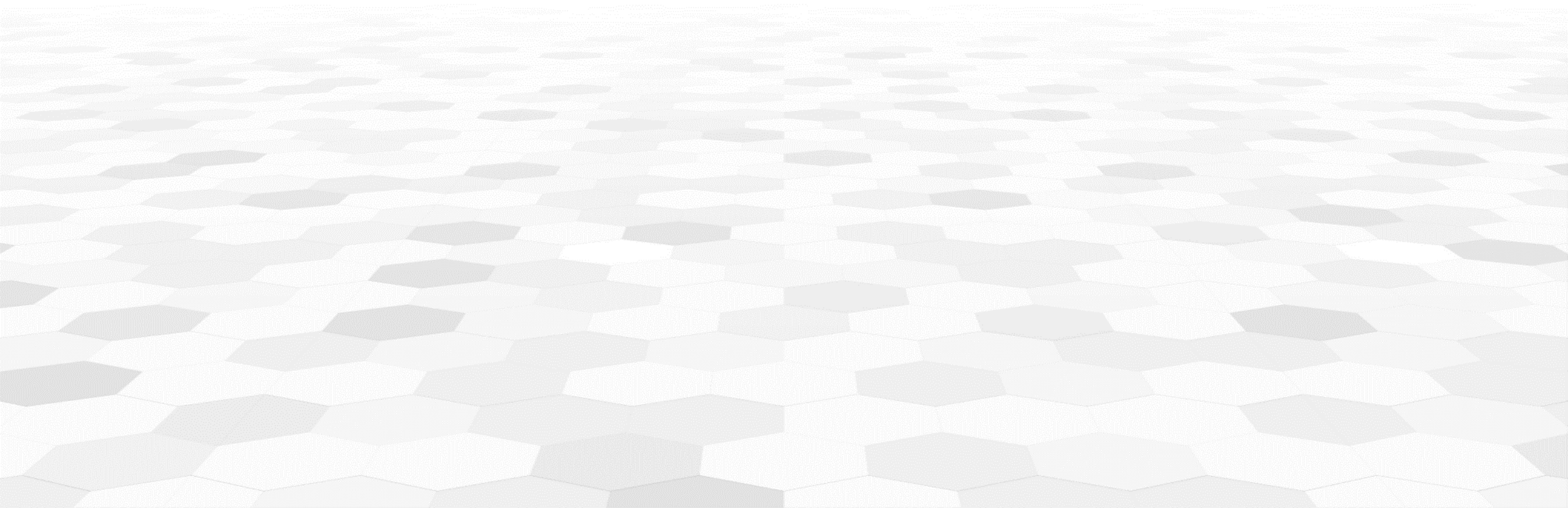
名前の定義の運用まとめ

- モジュール/シートをまたぐ参照を行う際に必ず名前の定義を使用
- 名前の定義のルールは
(EntityName).ItemName.PeriodGranularity.NameType
- 名前を付けたいセルの範囲の右にテキストを入力し、セルの範囲 + テキストの範囲を選択して **Ctrl + Shift + F3**

講義まとめ

- 名前の定義とは、複数または単一のセルに対して名前を付けることができる機能
- 名前の定義を活用することで、参照元の正しさを担保したり直感的な数式を構築できる等、様々なメリットがある
- 一方、名前の定義を知らないと参照元のセルが分かりにくく、また名前の定義の管理にも技術を要するなどのデメリットもあるが、ソフトウェアや VBA を併用することでカバーできる

質疑応答 - Q&A





財務モデリング講座
名前の定義の活用 (1)

終了